

## 近畿大学工業高等専門学校 ボランティア・グループ “Good Job” 活動報告書

### 1. 活動の目的

地域の方々や福祉団体から依頼を受けた様々なボランティア活動に参加し、参加者との交流や伝統行事への参加・福祉活動等を通して、地域の方々に高専の存在を知っていただくことを目的としています。

また、他府県からの学生が多く在籍しているのが本校の特徴の一つです。様々な地方の文化、歴史、習慣を活かし、地域活動を盛り上げていき、メンバー自身の人格形成や、将来本校を卒業しても様々な地方の社会活動に積極的に参加する心を持ち、社会や地域に貢献することを、目的としています。

### 2. 活動を始めるきっかけ

ボランティア・グループ Good Job 発足のきっかけは、本校が熊野に所在していた頃の学生会の文化祭実行委員会メンバーによる地域清掃への参加でした。せっかくなら、継続的にボランティア活動を有志メンバーで行っていこうということになり、登録希望者を随時受け付ける現在の形態になりました。昨年度、本校が名張市に移転してからは、名張市の社会福祉協議会やボランティア協会の方々を中心に、依頼を受けるようになりました。

### 3. メンバー構成

毎年、年度初めに登録メンバーを募集し、年度途中でも希望者が出てくれば随時受け付けています。今年は約 30 名程度の登録者がおり、4 年生を中心に、3 年生・5 年生・専攻科生が活動しています。依頼を受けたボランティア内容を登録メンバーに伝え、都合や希望に応じて参加メンバーを調整し、派遣しています。継続して活動できるように、個人が無理をせず、できる人ができることをするという形での参加を続けています。

### 4. Good Job 独特の特徴

Good Job のメンバーが様々なボランティア活動に赴くと、参加させていただいた福祉団体の方や地域の皆さん達から

「メンバー全員とっても仲がいいね」や「礼儀正しい子達ばかりだね」

という言葉をよく頂きます。これは本校の教育理念である

「人に愛され、

信頼され、

尊敬される新時代を担う技術者」

の理念を日々日頃教員が指導し、学生が意識している結果と思われま

## 5. 現在の主な取組内容

### 5-1 宇流富志禰神社の秋祭りの神輿担ぎ

名張市には様々な祭りや伝統行事が残されていますが、若年層の減少により維持が困難になってきています。このような中、宇流富志禰神社の秋祭りでは神輿や太鼓台担ぎのボランティア依頼をいただき、沢山の学生が参加してきました。体力勝負ということで、Good Job メンバーだけでなく、野球部等の運動部にも応援を頼みました。その人数は Good Job に参加している学生は約 10 人、一般生徒約 20 人、野球部約 60 人という大人数で参加しました。この一般生徒約 20 人のほとんどは Good Job に参加している学生が友達に参加を頼む、教員が手作りしたチラシを校内掲示板に掲示し学生の参加を呼びかける、などして人数を集めました。この一般生徒 20 人のうち何人かはこの後に正式に Good Job 部員としてこれからも協力してくれることになりました。午前中は雨にも見舞われ、少し残念な様子の学生もいましたが、午後から徐々に天気が回復していき次第に学生達に笑顔が見られるようになりました。神輿運びが終わった時には伝統行事の保存に貢献することができて参加した学生も大いに充実感を感じ、また、地域の方々には大変喜んでいただきました。



## 5-2 ヤングミドナサポーター（三重県内の献血啓発活動）

このボランティア活動は三重県伊賀保健所の方から依頼を受け、ヤングミドナ・サポーター（三重県内の献血啓発活動）への参加をしています。主な内容としては、名張市や伊賀市の商業施設を中心に、登録メンバーの地元である熊野市、鈴鹿市、四日市市など、県内各地で献血の呼びかけやティッシュ配布を行いました。津市にある赤十字血液センターを見学させていただいたり、クリスマスの飾りつけをお手伝いして県内各地のサポーター同士の交流を深めたりしました。この活動は伊賀保健所や赤十字血液センターの方々が高く評価していただきましたが、ボランティアを始めようとする学生の関心も高く、昨年度は5人だった登録者が今年度は30人を超えました。



### 5-3 野球部員 15 名による修<sup>しゅう</sup>二<sup>に</sup>会（お水取り）の松明調進

この活動は Good Job のボランティア活動ではありませんが、Good Job に参加していない学生でも積極的にボランティアに参加している事を皆さんに知って欲しくて活動報告内容に加えさせていただきました。この「お水取り」と呼ばれている行事は、奈良県の東大寺二月堂の修二会で使われる松明木の束を名張市から奈良県の二月堂まで運ぶというものです。午前 6 時に出発し、県境までは徒歩で山道を乗り越え、県外からはバスによる乗り継ぎを利用して、午前 11 時頃東大寺二月堂に到着したそうです。この松明木の一部には東日本大震災で被災した人達に「早い復興を」という願いを込めて作られました。Good Job のメンバーは参加していませんが、同じ近畿大学工業高等専門学校の学生として、この行事に本校の学生が参加したことを誇りに思います。野球部は日々辛い練習をこなしている中で地域のためのボランティア活動も行い、このお水取りの松明運びで本校のボランティア活動に素晴らしい功績を残してくれたと思います。

この活動は各新聞社に取り上げられています。下の記事は中日新聞社の記事です。

## 春を呼ぶ東大寺・お水取り「松明調進」

### 名張・極楽寺から 峠越えて無事奉納

【奈良県】奈良県東大寺二月堂の修二会（お水取り）の松明調進が、名張市から二月堂まで運ぶという行事が、11日（土）午前11時頃、東大寺二月堂に到着した。この行事は、東日本大震災で被災した人達に「早い復興を」という願いを込めて作られた。Good Jobのメンバーは参加していませんが、同じ近畿大学工業高等専門学校の学生として、この行事に本校の学生が参加したことを誇りに思います。



（左）東大寺二月堂の修二会（お水取り）の松明調進が、名張市から二月堂まで運ぶという行事が、11日（土）午前11時頃、東大寺二月堂に到着した。この行事は、東日本大震災で被災した人達に「早い復興を」という願いを込めて作られた。Good Jobのメンバーは参加していませんが、同じ近畿大学工業高等専門学校の学生として、この行事に本校の学生が参加したことを誇りに思います。

平成 24 年 3 月 16 日 中日新聞

## 6. 現在の課題と今後（将来）の方向性、夢

学生が無理をしない形での継続的な参加を目標としているので、現時点では、いただいた依頼を受けるという受動的な活動になっています。これはこれでよいと思うのですが、登録メンバーが年を追うごとに増えていますので、今後はより積極的な活動ができればよいと思っています。少しずつ名張市の方々にも活動を知っていただいています。これからも取り組みを続け、認知度を上げていきたいと考えています。そして近畿大学工業高等専門学校の学生としての自覚を持ち、最終的には自分で社会貢献でき、様々な面で人の役に立つ事のできる人間になることを目標としていきたいと思っています。



近畿大学工業高等専門学校ボランティア・グループ Good Job 一同